

あかね会新年会の開催

1月25日(日)の12時から八王子エルシーで、令和8年のあかね会新年会が開催されました。

あかね会の活動では、会員の親睦を深めるために5月の定期総会のほか、毎年、新年会を開催しています。今回は、学校、PTAのご来賓を迎えて、和気あいあいとした新年会となりました。以前の新年会は40名程度の参加がありましたが、会員の高齢化が進み、また2020年以降の新型コロナの影響もあり、参加者が23人と少なめでした。

入沢修自副会長(平成5年卒業)の進行で始まり、浜中賢司会長(昭和44年卒業)の挨拶がありました。学校・PTA関係者のご出席の御礼のあと、「120年以上の歴史のある同窓会は継続することが大事で、同窓会として生徒活動を支えたい。只今は、母校の部活動で関東大会などに出場する場合の掲示物の製作を支援している」との話がありました。

続いて、来賓の富川麗子校長先生から挨拶をいただき、まず同窓会の学校支援への御礼が述べられました。「教育の柱は探究活動にあり、本校の伝統を受け継ぐとともに、探究から未来を切り拓いていく。また、昨年末の新聞報道にあった松井嵯峨さんに連絡を取ったところ、仙田先生が渡米し帰国後の先生の姿にカルチャーショックを受け、海の向こうの文化に目を見張った」などの話が披露されました。

次に、川本洋輔PTA会長からご挨拶をいただき、日頃の御礼のあと、「親父の会で活動した後に昨年から会長に就任した。都立中高一貫校の集まりで、各校で連携を取りつつ活動を進めている」とのお話がありました。

次に、乾杯の発声を元校長・元会長の小林幹彦顧問(昭和45年卒業)にお願い

しました。「高校(調布北・立川国際)のバスケット部の顧問指導に専念し、総会・新年会などは試合と重なり久しく参加できなかった」とご挨拶のあと、乾杯の発声がにぎやかに行われ、懇親に入りました。



その後、「新春インタビュー」が行われ、初めに学校の山下創副校長先生・渡邊由紀副校長先生からひと言いただきました。山下副校長からは、「PTAも同窓会も活動が活発で驚いている」。渡邊副校長からは「国際交流が盛んでイタリア・デララッカ高校のほか、ドイツ・ミュンヘン、台北との学校との交流がある」と。

次に、参加者からひと言をいただき、それぞれの近況や今年の抱負などが語されました。新年会に初参加の及川賢一氏(平成11年卒業)から、「入学時に定員割れがあり、ヤンキーの友人もいたが、個性的で今では活躍している人もいる」との話や、永澤哲司氏(昭和52年卒業)から、「本年10月に卒業50周年の同期会を企画している。会報に案内を掲載いただくこととなっている」との話がありました。



終わりに近づき、久々の参加となった伊達めぐみさん(平成2年卒業)の音頭で、声高らかに「湧き水は街をめぐり・・・」と校歌が齊唱されました。結びに、齋藤博志副会長(昭和50年卒業)から閉会の言葉が述べられ、お開きとなりました。 (溝口)

令和8年 南多摩同窓会 あかね会 新年会



令和8年1月25日 八王子エルシー

